

保育内容・言葉に関する高等学校授業実践報告

小澤 登生男（三重県立伊賀白鳳高等学校）

I. はじめに

本稿では、筆者が三重県立伊賀白鳳高等学校で授業実践している、保育内容・言葉に関する教育実践について考察していきたい。具体的な授業実践の内容は、手作り絵本の制作と、演劇の制作と上演である。

保育所保育指針の3歳以上児の保育に関するねらい及び内容のなかの保育内容・言葉をみると、言葉について次のように書かれている。言葉とは、

「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。」

とある、そして、そのねらいには、

- 「① 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。
- ② 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。
- ③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、保育士等や友達と心を通わせる。」

とある。内容の9番目には、

「⑨ 絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。」

とあり、内容の取扱いの3番目には、

「③ 絵本や物語などで、その内容と自分の経験とを結び付けたり、想像を巡らせたりするなど、楽しみを十分に味わうことによって、次第に豊かなイメージをもち、言葉に対する感覚が養われるようにすること。」

とある。¹

この絵本や物語のところが、保育内容・言葉の領域において関係する、本稿の趣旨である授業実践の「絵本と演劇」の考察となる（筆者傍線）。

II. 三重県立伊賀白鳳高等学校の取り組み

1. ヒューマンサービス科・生活福祉コースの取り組み

三重県立伊賀白鳳高等学校の福祉科（正式科名はヒューマンサービス科）の生活福祉コー

スでは、福祉に関する専門科目として、「社会福祉基礎」、「生活支援技術」、「家庭総合」、「フードデザイン」、「子どもの発達と保育」、「福祉住環境」、「園芸福祉」、「福祉制度とサービス」、「ファッション造形基礎」、「コミュニケーション技術」、「子ども文化」、「介護総合演習」などを学習している。「介護総合演習」は、学科設置校の必履修科目の一つである。そして、この科目は、課題研究的なものであり、総合的な探究の時間の代替科目でもある。科目名に「介護」という言葉が入っているが、介護のみを扱うのではなく、福祉全般の課題からも扱ってよいとされており、本校の生活福祉コースでは、児童福祉をテーマにして実施している。

生活福祉コースの生徒たちは、将来、幼児教育系・保育系の短期大学、大学、または専門学校へ進学する生徒が多い。そのことから、授業では、保育に関する内容を取り扱っている。その主たる科目は、「子どもの発達と保育」、「子ども文化」、「介護総合演習」であろう。筆者は、本校では2年生と3年生とで「介護総合演習」科目の担当経験があるが、前述のように児童福祉をテーマに実施しており、現在の授業内容は、保育総合演習に近く、2年次に手作り絵本の制作と、3年次に演劇の制作と上演を行っている。

2. 絵本について

奥山は、絵本について次のように述べている。² 「現在の幼児向けの絵本は、昔話や民話などを再話した『昔話の絵本』、創作童話の『物語（お話）の絵本』、動物・植物・自然を題材にした『科学の絵本』、あいさつ・歯みがきなどといった生活習慣や、正月や雛祭りなど年中行事などを描いた『生活の絵本』、乗り物や動物など身近なものを題材にした『物の絵本』、詩・歌・言葉・楽譜が載っている『詩歌・言葉の絵本』などがあります。」と、題材について詳しく説明している。

本校においても、生徒たちの題材の特徴は、キャラクターや既存の物語は禁止をしているので、創作の物語（お話）の絵本や、生活の絵本が多い。それでも生徒たちは、創意工夫を凝らして題材を生みだしており、ユニークなものもあって大変おもしろい。生徒たちは、若く頭が柔らかいので、大人の筆者では思いつかない柔軟な思考の持ち主であり魅力的である。制作段階においては、最初に構想を練り、登場人物（動物）などを決め、あらすじを書いていく。それができたら1ページごとに場面を設定するための絵コンテに落とししていく。このときに、どの部分を何色で塗るかを決める。仕上げは、厚紙に名前ペンや色鉛筆で登場人物などの枠を描いたり色を塗ったりしていく、という過程である。

以下、絵本制作の様子、制作のためのプリント①「あらすじ・登場人物」について、プリント②（絵コンテ）について、製本の仕方のプリント、生徒の作品、本学のシラバスを紹介する。

< 絵本製作の様子 >



＜ プリント①「あらすじ・登場人物」 ＞

ストーリー構成シート Part①								
～おおまかなストーリーを考えよう！～							班	
1. あらすじ								
2. 登場人物								

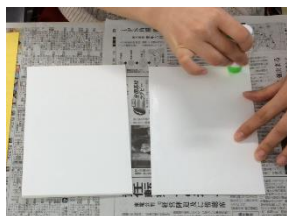
< プリント② (絵コンテ) >

[illegible]

＜ 手作り絵本を作ってみよう ＞
～製本の仕方～

準備物	中身・・・7枚～10枚	表紙用紙（35 c m×25c m）・・・1枚
	厚紙 A（20.2 c m×8mm）・・・1枚	厚紙 B（20.2 c m×14 c m）・・・2枚
	見出し紙（27.2 c m×19.2 c m）・・・2枚	

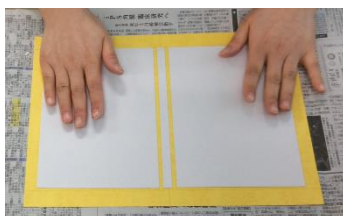
工程① 中身を全て「のりづけ」して
1つにする
※順番や方向に注意



工程② ①の前と後ろに半分に折った
見出し紙を貼り付ける
邪魔にならないところで乾かす



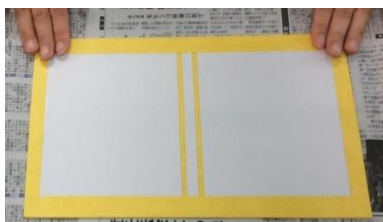
工程③ 表紙用紙に厚紙 A・B を
下図のように貼る



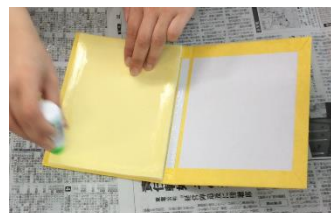
工程④ 表紙用紙の隅を下図のように
切る（4つの角、全て）



工程⑤ 厚紙を包むように内側に折り、
横・縦の順番で「のりづけ」する



工程⑥ 中身と表紙部分を貼り付ける



のりが乾いてぴったりくっついたら、「完成」

＜ 生活福祉コース 2 年生・介護総合演習のシラバス ＞

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	福祉（生活福祉コース）・介護総合演習		単位数	3	単位	履修年次	2	年
目 標	<ul style="list-style-type: none">・パネルシアターなどの作成を通して、専門的な知識と技術の深化と総合化を図る。・主体的に取り組む態度を身につける。・作成課題を明確にし、課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を身につける。							
使用教材	なし							
評価の観点 ・評価規準	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
	基礎的な制作技術や発表技術を身につけている。 今後の子ども福祉・幼児教育を担う役割を理解している。		制作を通して、子ども福祉・幼児教育における課題の解決を目指すことを自ら考えている。 制作の中から、子どもの興味・関心を引き出し、表現することができる。		子ども福祉・幼児教育に対して関心を持ち、創意工夫に根差した態度を持って、積極的に取り組もうとしている。			
評価方法	目標を踏まえ、実習に取り組む「主体的に学習に取り組む態度」「知識・技能」「思考・判断・表現」については、授業と作成物の状況から評価を行います。							
学 期	学 習 内 容			学 習 の ね ら い				
1 学期	・パネルシアターの作成			<ul style="list-style-type: none">・物語を作り、物語に必要なパーツを下書きし、色を塗り完成させる・物語の道筋を考える力を身につける。				
2 学期	<ul style="list-style-type: none">・絵本の作成・パネルシアターの発表（校内・保育所）・絵本の発表			<ul style="list-style-type: none">・自ら発表の課題をみつけ、発表課題解決の道筋を考える力を身につける。・自分の考えをまとめ、発表できる力を身につける。・子どもの心情を考え、制作技術を身につける・発表することにより、相手に伝える力を身につける				
3 学期	・展示物の作成			・制作技術を向上させ、制作意欲を高める				
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none">・子どもへの関心を向けた制作活動です。創意と工夫を持って取り組みましょう。・創作活動を通して、子どもたちへの理解を深め、興味・関心を引き出していきましょう。							

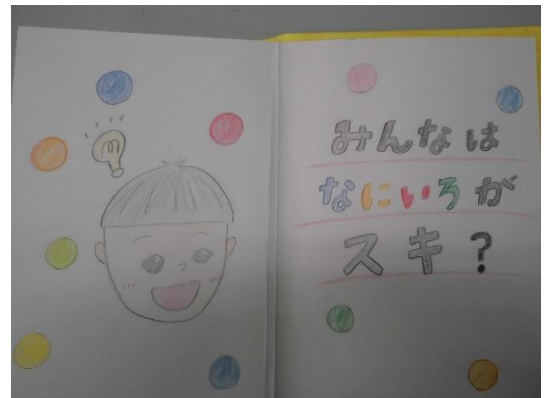
三重県立伊賀白鳳高等学校

< 生徒の作品 >

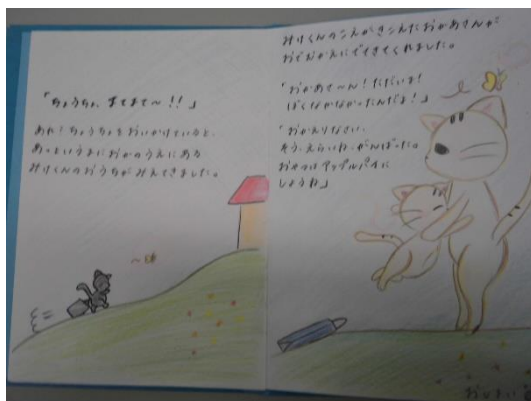
おはなものがたり



みんなは なにいろがスキ？



はじめてのおつかい



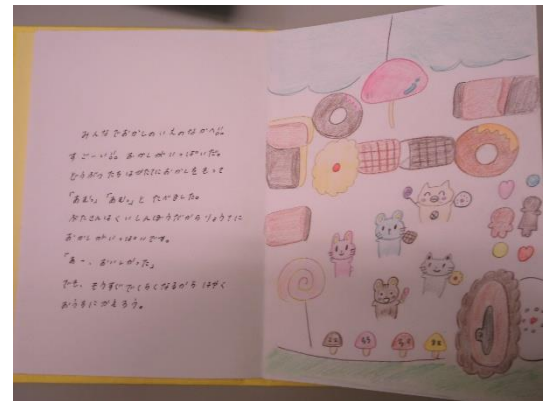
だいすき



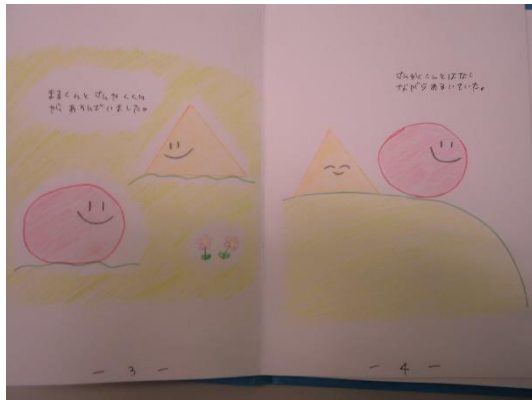
ほいくえんのおともだち



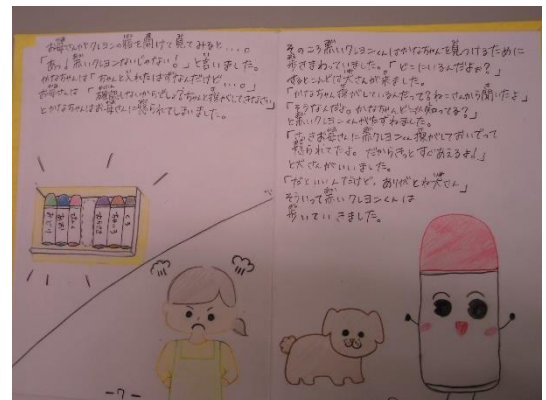
おかしのいえ



まるくん



くれよん



おたんじょうびかい



うさぎのだいぼうけん



表紙 (やさしいズ)



表紙カバー (赤・黄緑・黄・青)



絵本は、言葉の発達を促進させる児童文化財の1つである。筆者の経験から、保育所において、1・2歳児に絵本を読み聞かせをすると、言葉を理解しどんどん言葉を獲得していく。また、絵本を持ってきて、「これ読んで」と言いながら保育者の膝に乗って読んでもらうことを楽しみにしている。同じ絵本にもかかわらず、毎日飽きずに繰り返し繰り返し読んでもらうことを楽しんでいる。この繰り返しが、言葉を獲得することの促進作用なのであろう。言葉の獲得とともに保育者の膝の上に乗ることで、スキンシップを図ることもできる。5歳児の年長児クラスでは、対個人との読み聞かせもあるが、クラス全体で読み聞かせすることが多い。絵本も文章が長くてもよく理解できる子が多いし、童話も理解できる子も出てくる。この頃になると文字の獲得ができて、一人で絵本を音読または黙読している子も見られる。保育所での日々の活動において、絵本は、毎日の保育実践で扱われており、欠かせないものとなっている。

保育内容・言葉の内容のなかの絵本は、大きなウエイトを占めており、絵本は言葉の獲得や、言葉に対する豊かさを磨いていく児童文化財である。

3. 演劇について

次に演劇についてである。本校の3年次の授業で防犯劇の制作と上演を行っている。上演先は、本校から徒歩10分程度の場所にある伊賀市立上野東小学校で、対象は1年生である。防犯劇としているのは、小学校1年生に対して、不審者から身を守るための啓発をすることと、彼らとの交流を目的としているからである。上演の日は、毎年、2学期の10月ころを予定しており、その日に向かって完成を目指して取り組んでいる。本校の生活福祉コースは、3年生になると、防犯劇の上演に向けての制作の準備が始まる。最初の授業では、演劇の目的と制作から上演までの流れを説明する。「なぜ、防犯劇なのか」、「なぜ対象は小学校1年生なのか」を話し、前年度に撮影しておいた先輩の上演したビデオを観てもらふ。

それからは、役割分担の作業に入る。生徒たちは、自分がどの役割をしたいのかをみんなと話し合う。生活福祉コースの人数は、おおよそ15人から24人と毎年変わってくるので、役割分担の人数体制を考慮する必要がある。概ねの役割は、「司会者」、「クイズ係(多数)」、「ナレーション係A」、「ナレーション係B」、登場人物の「小学生A」、「小学生B」、「犯人(変人)」、「警察官A」、「警察官B」、「SOSの家の人A」、「SOSの家の人B」などである。役割が決まると、それぞれが使用する備品や物品の制作に取り掛かる。また、並行して、2学期の上演に向けて小学校の先生方との打ち合わせを重ねていき、本番へと向かうのである。

以下、本学のシラバス、台本、制作の様子、上演のようすを紹介する。

＜ 生活福祉コース 3 年生・介護総合演習のシラバス ＞

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	福祉（生活福祉コース）・介護総合演習		単位数	3	単位	履修年次	3	年
目 標	・ 防犯劇などの学習を通して、子どもに関する専門的な知識と技術を身につける。 ・ 主体的に取り組む態度を身につける。 ・ 課題を明確にし、自発的・創造的に解決する能力を身につける。							
使用教材	なし							
評価の観点 ・ 評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
	防犯劇を通して、子ども達に伝える技術を身につけている。 子どもに関する専門的な知識と技術を身につけている。	課題の解決を目指して自分の考えを持ち、適切に判断する能力を身につけている。 自分の考えや意見を的確に表現することができる。	子どもに関心を持ち、知識と技術の習得を目指して意欲的に取り組んでいる。 子どもに関する情報を適切に収集、処理し活用する実践的な態度を身につけている。					
評 価 方 法	目標を踏まえ、「主体的に学習に取り組む態度」・「知識・技能」・「思考・判断・表現」を日々の授業を中心に評価を行う。具体的には、授業の態度や発表、レポートなどの内容を踏まえ、総合的に評価を行う。							
学 期	学 習 内 容		学 習 の ね ら い					
1 学期	・ 防犯劇の構成、台本作成、練習 ・ レクリエーションの作成、練習		・ 防犯劇やレクリエーションを通して、特に子どもに対する表現方法や身につける。 ・ より良い劇にするために自ら課題を見つけ、解決の道筋を考える力を身につける。 ・ レクリエーション指導案や手遊び指導案を作成し、発表を通して専門的な知識と技術を身につける。					

2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯劇の練習 ・ レクリエーションの練習 ・ 防犯劇の発表 ・ レクリエーションの実践 ・ 防犯劇の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯劇やレクリエーション活動を通して、子どもに柔軟に対応できる力を養う。 ・ 自分の考えをまとめ、発表できる力を身につける。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯劇のまとめ ・ 保育園や幼稚園用の展示物の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯劇の反省を通して、新たな課題や改善点を見いだす力を身につける。 ・ 展示物を作成し、他者へ伝えるための表現力を身につける。
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇中心の授業です。指定のシューズが必要です。 ・ メンバー同士で協力し合える関係作りをしていきましょう。 	

三重県立伊賀白鳳高等学校

2021 年度 3 年生活福祉コース オリジナル防犯劇 台本

シーン	役割	担当者	セリフ
0	挨拶	A	みなさん、こんにちは。
			私たちは伊賀白鳳高校のヒューマンサービス科から来ました。
			今日は、みなさんに私たちが作った防犯劇を見てもらいたいと思います。
			防犯とは、危ない事に巻き込まれないようにすることです。
			危ない事に巻き込まれないようにするためには、どうしたらいいのか
			というお話ですので、しっかり見てください。
1			(いかのおすし部隊 段下 中央に出てくる)
	ナレーター	B	最初にいかのおすしを覚えてもらいたいと思います。
			いかのおすしの いか！は 『行かない』
			の！は 『乗らない』
			お！は 『大声で叫ぶ』
			す！は 『すぐ逃げる』
			し！は 『知らせる』
			みなさん覚えておいて下さいね。
			(いかのおすし部隊 段下 左へはける)
			それでは、劇を始めます。

『 』は全員で言う

2			(小学生 右から出てくる)
	ナレーター	B	今は小学生の下校中です。
			きほちゃんと、うるちゃんは遊ぶ約束をしています。
	小学生○	C	「うるちゃん！今日あそぼー。」
	小学生△	D	「いいよー。公園で遊ぼ！」
	小学生○	C	「うん！そうしよ。」
3			(変人 車に乗って左から出てくる)
	ナレーター	B	おやおや、怪しい車が見えますね！
	変人	E	「お嬢ちゃんたち、今、学校帰り？ 一緒にお菓子買いに行かへん？車乗り！」
	小学生○	C	「なんか怖いなー。」
	小学生△	D	「ほんまに怖いなー。」(後ずさる)
	クイズ係	F	(クイズ係 段下 左から出てくる)
			それでは、ここで問題です！
			この後、きほちゃんと、うるちゃんはどうすればよいでしょう？
			①逃げる ②乗る ③迷う
			①の「逃げる」だと思う人？ ②の「乗る」だと思う人？ ③の「迷う」だと思う人？
			正解は①の「逃げる」です。
			(クイズ係 左へはける)
	ナレーター	B	それでは、続きを見てみましょう！
	小学生○	C	「怖いから逃げよ！」
	小学生△	D	「そうしよ！走るで！」
			(小学生 左へはける)
	変人	E	「待て～～！！」
			(変人 舞台上で1周して左へはける)
4			(クイズ係 段下 左から出てくる) (家を右から出す)
	ナレーター	B	きほちゃんと、うるちゃんは、ミーボ君の旗がある家を見つけました。
	クイズ係	F	ここで問題です！ ミーボ君の旗は、どれでしょう？
			①だと思う人？ ②だと思う人？ ③だと思う人？
			正解は②です！
			(クイズ係 段下 左へはける)
	ナレーター	B	では、続きを見ていきましょう！
			(小学生 左から出てくる)
	小学生○	C	「あ！あの家、ミーボくんの旗がある！」
	小学生△	D	「すいませーん。誰かいますか？」 (ドアをたたく)

			(家の中からお姉さん登場)
	お姉さん	G	「どしたん？」
	小学生○	C	「うるちゃんと学校から帰っていたら、変な人に追いかけてん！」
	小学生△	D	「ミーボ君の旗が見えたから！逃げてきた！」
	お姉さん	G	「そっか～、それは怖かったね！はよ入り～！」
			(子どもと1人のお姉さんが家の中に入る)
5	ナレーター	B	お姉さんは警察に電話を掛けました。
			(警察 左側から少し出てくる)
	お姉さん	G	「もしもし、警察ですか？子どもたちが変な人に追いかけられたらしくて、家に逃げてきたんです。」
	警察	H	「そうなんですね！わかりました。すぐ行きます！」
			(警察 家の前までパトカーで移動)
6	警察	H	「警察です！」
	お姉さん	G	「警察の人、来たよ。」
			(家の中から子どもと1人のお姉さんが出てくる)
	警察	H	「詳しく話を聞かせてくれますか？」
	小学生○	C	「学校帰りにうるちゃんと遊ぶ約束をしながら帰っていたら、
			変な人に車乗り！って言われて、なんか怖くて逃げてきた！！」
	小学生△	D	「変な人は、男の人で、服は黒色で、車は青色、ナンバーは2が入っていた気がする！」
	警察	H	「それは怖かったね～、教えてくれてありがとう！もう大丈夫だよ。」
			(家を右へしまう) (子どもと警察 右へはける)
			(変人 左から出てくる)
7	ナレーター	B	警察は変な人を探しに行きました。
			(変人 車に乗って左から出てきて、車から降りる)
			(警察 右から出てくる)
	警察	H	「あ！黒い服に青い車、子ども達が言っていたのは、あいつじゃ ないか！？ おい、そこの黒い服の男、待て～！」
			(変人と警察の追いかっこ・・・小学生の周りを1周する)
			「捕まえたぞ！！」
	変人	E	「ああ、捕まった～～(´;ω;`)」
			(警察と変人 左へはける)
	ナレーター	B	小学生たちが変な人の服の色や車の色覚えていたので、変な人は警察に捕まりました。
			みんなも、変な人を見かけたり、話しかけられたりしたら このミーボ君の旗がある家に逃げましょう！

8	クイズ係	F	(クイズ係 段下 左から出てくる)
			それでは、クイズを5問出します！みなさん最初に言った、いかのおすしは覚えていますか？
			第一問！ いかのおすしの いかは？
			①行かない ②威嚇（いかく）する ③イカを焼く
			①の「行かない」だと思う人？ ②の「威嚇する」だと思う人？ ③の「イカを焼く」だと思う人？
			正解は、 ①の「行かない」です！
			第二問！ いかのおすしの の は？
			①のりでまく ②乗せてもらう ③乗らない
			①の「のりでまく」だと思う人？ ②の「乗せてもらう」だと思う人？ ③の「乗らない」だと思う人？
			正解は、 ③の「乗のらない」です！
			第三問！ いかのおすしの お は？
			①押さない ②お寿司を食べる ③大声で叫ぶ
			①の「押さない」だと思う人？ ②の「お寿司を食べる」だと思う人？ ③の「大声で叫ぶ」だと思う人？
			正解は、 ③の「大声で叫ぶ」です！
			第四問！ いかのおすしの す は？
			①スイカを割る ②すぐ逃げる ③座る
			①の「スイカを割る」だと思う人？ ②の「すぐ逃げる」だと思う人？ ③の「座る」だと思う人？
			正解は、 ②の「すぐ逃げる」です！
			第五問！ いかのおすしの し は？
			①知らせる ②信じる ③しゃべる
			①の「知らせる」だと思う人？ ②の「信じる」だと思う人？ ③の「しゃべる」だと思う人？
			正解は、 ①の「知らせる」です！
			(クイズ係 段下 左へはける)
			(全員出てくる)
			これで、劇とクイズを終わります。
9	ナレーター	B	みなさん、「いかのおすし」は自分を守るために大切な言葉です！！
			しっかり覚えておいて下さいね！！ これで、劇とクイズを終わります。
			礼、ありがとうございました。

< 演劇用の備品や部品の制作の様子 >



< 小学校での上演の様子 >



防犯劇を通して、高校生は、小学生との交流を図ることで大変有意義な時間となる。犯人（変人）が舞台から降りて小学生の周りを走り逃げることで、子どもたちは、「キャーキャー」と盛り上がっている。今回は、男子生徒が、悪役風に扮して悪そうに見えるので、必要以上に小学生たちは怖がり、大騒ぎとなった。また、クイズ形式で小学生に手を挙げてもらって答えてもらうのも、双方とのコミュニケーションとなる。防犯劇をとおしての小学生との交流は、将来、子どもたちと接する仕事を目指している高校生にとって、よい経験となったと感想を述べていた。

いずれにせよ、演劇のなかのセリフから言葉の意味を捉え、他者とのコミュニケーションを図ることができる。言葉は、コミュニケーションツールの1つなのである。

Ⅲ. おわりに

本稿の趣旨である授業実践の「絵本と演劇」から保育内容・言葉の領域における関係性を考察してきた。絵本は言葉の獲得や、言葉に対する豊かさを磨いていく児童文化財であり、演劇は、言葉によるコミュニケーション能力を養う働きがある。

絵本や演劇（劇遊び）は、子どもたちの言葉の発達を促し、新たな言葉を覚えて、言葉を豊かにしていく。また、友だちどうしのコミュニケーションにおいても、言葉によってお互いの意思を確かめ合うこともできるようになる。

今回の高校における授業実践報告によって、保育内容・言葉についての考察を深める機会となった。この授業実践報告を契機に、更に今後の授業実践や研究に寄与したいと考えている。

引用文献・引用検索及び注

-
- ¹ 厚生労働省ホームページ 保育所保育指針
https://home.childcareweb.jp/docs/h29_hoikusishin.pdf
(最終検索日：2022年11月26日閲覧)
- ² 奥山優佳：児童文化がひらく豊かな保育実践・中坪史典編著、p32、保育出版社、2009年